

## 式辞

今日の良き日、多くのご来賓の方々並びに保護者の皆様、また柳谷利通理事長を始め学校法人役員の御臨席の下、平成二十七年度第四十一回入学式を挙行できますことに、厚く御礼申し上げます。

百九十名の新入生の皆さん、入学誠におめでとうございます。心から祝意を表し、全校挙げて歓迎いたします。

本校は、昭和五十年四月に、学校法人八戸工業大学傘下の四番目の学校としてスタートいたしました。開校以来、学校法人の掲げる建学の精神「己を正し、以って物に格る」、すなわち、人格、徳性を養うとともに、知性を練磨して、地域社会に貢献できる有為な人材を育成することを第一の目標とし、教育活動を展開してまいりました。

おかげさまで卒業生は一万人を超え、政界、教育界、実業界を始め様々な分野ですばらしい活躍をする人材を輩出してまいりました。

本校は勉強や部活などで養う学力や体力はもちろん、様々な体験的なプログラムを通して培う人間力を養い、それらの力をバランスよく育て、たくましく生き抜く力を育てることを教育目標としています。

夢は希望をうみ、希望は目標をうみ、目標は努力をうみ出します。本校では、生徒一人ひとりの夢に寄り添い、その夢の実現のため、教師・生徒一丸となって努力する、師弟同行をモットーに教育活動を推進します。

皆さんにお願いがあります。まずは、この入学式をもって、気持ちをすっかり切り替えてください。「このままではこのまま」ということに気づき、変わろうとした時から本物の人生が始まると言ってもよいかもしれません。変わるためには「本気」になることです。

「本気になればひとはかわる。変わらないのは本気じゃないからだ。」という言葉があります。どんな大きな目標でも、諦めず本気になって一步一步を積み重ねて行けば必ず成し遂げられると信じ、努力を続け、見事に夢を実現した先輩たちと同様に、三年後の自分との出会いに胸を躍らせ、本校への入学が、実は神様がくれたすばらしいプレゼントであったと思えるよう、私たち教師と一緒に目標に向け一步一步確実に歩んでいきましょう。

保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れやかな未来のために、本校の教育方針並びに教育活動全般に、特段のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、本日ご臨席を賜りましたご来賓、法人の皆様には、本校教育の推進と発展のため、今後ともなお一層のご支援とご指導をお願い申し上げ、式辞といたします。

平成二十七年四月四日

八戸工業大学第二高等学校  
校長 阿保民博